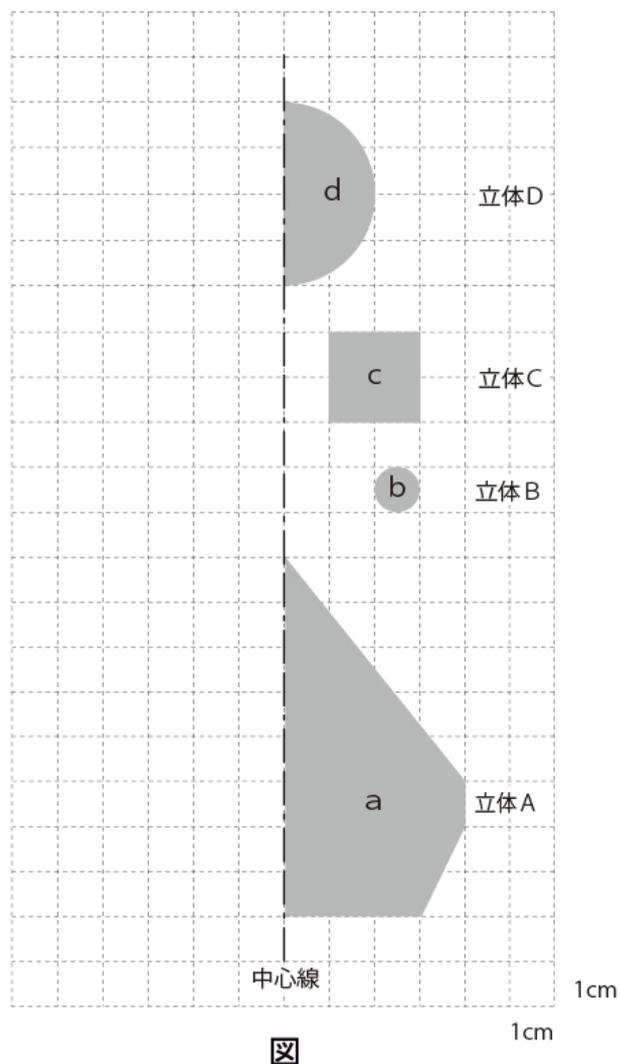


<2月選抜〔B日程〕試験>

【問題】

4種の立体A, B, C, Dがある。それぞれの立体は、図に示す平面a, b, c, dを中心線を軸に回転してできた形状である。すべての立体は樹脂製で、Cは無色透明、A, B, Dは不透明でそれぞれ異なる色に着色されている。これらの立体が下からA, B, C, Dの順に重ねられ、ペーパーウエイトとして、手紙の上に置かれている状態を想像し、描画条件にしたがい、解答用紙（画用紙）に描きなさい。



<描画条件>

- 1) 画用紙の裏面に受験番号・氏名を記入し、表面・縦位置で描きなさい。
- 2) 鉛筆や色鉛筆を使用し、フリーハンドで描きなさい。
- 3) 光の方向は自由に設定してよい。
- 4) 与えられた条件以外は自由に設定してよい。

【解説】

まず、図に示された4つの平面それぞれが、中心線を軸に回転してできる立体（回転体）をイメージします。一番下の立体Aを土台とし、中心に穴の開いた立体Bと立体Cが順番に重なり、一番上に球形の立体Dが乗るという構成となります。立体Bと立体Cの穴の大きさを確認すると、4つの立体の重なり方と全体の高さの寸法が把握できます。それぞれの断面の寸法を確認して、ペーパーウエイト全体の形を描きましょう。

次に、立体Cのみが透明の樹脂ですので、透過して見える立体Aや立体Dとの重なりを表現することが必要です。色についての指示にも注意しましょう。

そして、ペーパーウエイトの下に置く「手紙」については特に指示がないため、便箋または封筒あるいはその両方を適切な大きさと描きましょう。

最後に、光の方向を決め、陰影と質感を表現しましょう。

